



みと納豆

生活の発見会
水戸集談会

▽「先月の集談会報告」集_II▽

| 開催日 例会回数 | 参加者 (初回者数) | 概 要 |
|-----------------|------------------|--|
| 11/22 | | |
| 10/25 | 10 名+講師 (1 名) | 小野委員による、「学習の要点」単元 8=「治るとはどういうことか」とレジюмеを基にした講話は、やさしく丁寧な説明で、とてもわかりやすかった、と好評でした。広い意味の「治る」とは、「人のために尽くせるようになること」等が印象的でした。 |
| 9/27 | 8 名 (0 名) | 自主学习は、F さんの進行で学習の要点 3 「感情の法則」を題材に、体験談や森田先生のことばを取り上げながら、全員で意見交換を行いました。「あるがままになすべきをなす」を基本としながら、変えられるのは感情ではなく行動であると教えられたことを具体的な行動目標とした。抽象的な議論ではなく、目の前のやるべきことに取り組み、積み上げていくことが森田が教えるところと思う。・・・などが印象的でした。 |
| 8/23 | | 4 月 5 月に続き 3 回目の遠隔集談会を実施しました。派遣講師としてお迎えする予定だった酒井委員が「私の症状、来歴と森田や発見会について思うこと」と題したレジюмеと講話原稿を送ってくださり、ホームページの掲示板にも参加いただきました。 ・「頭で理屈が分かること」と「本当に理解し実生活で実践すること」には雲泥の差がある ・「あるがまま」とは「かくあるべし」の反対ではなく「かくあるべし」も含めて、辛い事・楽しい事・悪い事・良い事も全部ひっくるめたもの ・「自分なりの森田」の構築 等々、深い内容で大変勉強になりました。 |
| 7/26 第 474 回 | 8 名 (0 名) | 学習の要点 2 の「神経質の性格特徴」を題材にして、自主学习を行いました。最初に交代で輪読し、自分の体験を織り交ぜて話し合いました。神経質という性格について、それぞれが思うことや、現実の生活の中で神経質の良い部分をどうかしていけばいいか、等について考える良い機会となりました。 |
| 6/28 第 473 回 | 9 名 (0 名) | 自主学习は、G さんの体験発表と併せて、森田理論学習の要点 1 「神経症の成り立ち」を題材にし、輪読のあと全員で意見交換を行いました。不安や恐怖を「あるがまま」にほったらかしにして、今やるべきことを行動していくことで、注意が外に向き楽になる。言葉や観念だけで納得しようとせず、事実を見て自分で考えながら、現実の自分を認めていくことが大事、との意見がでました。 |
| 5/24 | | 3～5 月と休会になり、5 月も 4 月に続き遠隔集談会を実施しました。事前に E メールや郵送にて自主学习資料（「改訂版・森田理論学習の要点」の「神経症の成り立ち」）を送り、皆の近況報告が 5 月例会予定日（5/24）に送付されました。その内容について水戸集談会のホームページの掲示板で意見交換をしました。「自主学习の資料が事前に送られてくるので、ゆっくり読み込めるのが良い」「やはり例会が一番だけれど、仲間とのつながりが感じられて良い」等の感想が寄せられました。 |
| 4/26 | | 3 月と 4 月の定例会は休会のため、新しい試みとして、4 月は「遠隔集談会」を実施しました。 事前に、e メールと郵便により自主学习資料(山中和己顧問の第五巻解説 15 回目)を送り、それを読んだの気づきや近況報告等を集め、それを例会予定日に全員へ配信し、その内容について、皆さんの意見や感想を水戸 HP の掲示板 |

| | | |
|----------------|----------------|---|
| | | に投稿し、意見交換をしました。普段とは一味違う学習と仲間との触れ合いが出来て、とても好評でした。 |
| 3/22 | | 新型コロナウイルス感染防止のため、休会 |
| 2/23 第472回 | 9名+講師 (0名) | 大宮夜間集談会より長谷川委員をお迎えし「吉田松陰と森田正馬の教えるもの」というテーマで講話をしていただきました。吉田松陰と森田正馬の共通点として「人間教育という観点」「人のために尽くすことによって人間を再生させようとした」ことをあげわかりやすく解説されました。「毎日の仕事(生活)の中で自分を鍛える」「自分はどのように生きていと望んでいるか。自分を正しく自覚して行動することが人間の本来の生き方である」等、大変勉強になりました。 |
| 1/26 第471回 | 9名 (1名) | 自主学習は、山中顧問の森田全集第五巻の解説の14回目で「なりきる」等が出てきました。山中先生の説明のうち、『結局、治るということは、どもっていいということが分かること』、『あなたの中にある神経質を伸ばしなさい』等の言葉が印象的などの意見が出て、皆さんで色々話し合いました。 |
| 12/15 第470回 | 8名 (0名) | 自主学習の時間は12月恒例の「一年の総括」を行いました。2019年を振り返って「本来の欲望」「今年できたこと・できなかったこと、良かったこと」「森田理論などであった気づき」「森田の好きな言葉を通して」などについて、各自総括し発表しました。一人が発表後、それに対して皆よりコメントがありました。集談会終了後は毎年恒例の忘年会を行いました。普段は集談会に参加されていない方も見えて、楽しいひと時を過ごすことができました。 |
| 11/24 第469回 | 8名+講師 (0名) | 講話は、鴨下学習委員による「私の森田的行動について」でした。心臓や不眠で生きていることが不安な時もあったそうです。発見会に入って、森田を活用し、『～してはならない(悪智)⇒～をしたい(自然・純な心)』に転換でき、『自分らしく正直に、今出来る必要なことをやろう!』等の心持ちになれたそうです。 |
| 10/27 第468回 | 11名 (3名) | 自主学習は、山中顧問による第五巻解説資料の第13回目。Gさんの進行で、輪読後皆で意見交換をしました。『弱くなりきる』というのは、心のはからいや、かくあるべしが減った状態のこと。かくあるべしをなるべく減らすようにすればいい。何か無理なことをする必要はない」「やむを得ず、仕方なしにやる、ビクビクハラハラしながらやる。これが自然。そのままの心でいいということ。今できそうなことから、仕方なしにやっていくということが全治であり、全治につながっていく」等学びました。 |
| 9/22 第467回 | 9名 (0名) | 自主学習は、山中先生の第五巻解説の12回目を、E幹事の進行で実施しました。 『神経質者は、これは変えることができると勘違いしたために、とらわれや落ち込みにみまわれるということ。心の中で起こることは、そのままにしておいて、なにか自分は劣っていると感じてもそれを治す必要はない』等が印象的でした。 |
| 8/25 第466回 | 12名+講師 (1名) | 柏集談会より須佐委員をお迎えし講話をしていただきました。以前発見誌に執筆された「神経質症にどうしてなるか」についてお話しくれました。 「森田理論学習の要点」に沿ったご自身の体験談はとてもわかりやすく「症状に陥った自分も、森田理論を学んで立ち直れた自分も同じ大切な自分。森田理論を学んで『道は開けた』道が見つかるには神経質症の体験が必要だった。そう思える自分を良しとする」の言葉に、そうありたいと思いました。 |
| 7/28 第465回 | 9名 (0名) | 自主学習は、ディスカッション「あるがままと純なる心」の2回目の「感じ・恐怖突入・共感」の範囲を、F幹事の進行で実施しました。 『何かの感じに対して理屈を挟まず、ちょっと手を出すと感じは高まり、興味や進歩が生まれてくる』等が印象的でした。 |
| 6/23 第464回 | 11名 (1名) | 自主学習は発見誌5月号の記事を題材に「あるがまま・純な心」についてディスカッションを行いました。「ありのままの自分を認めるのはなかなか大変だが、他の人になることはできないのだから、自分を否定しないで今の自分でやっていくしかない」「不安を何とかしようと思うとよけい辛くなる。戦うことを止めた時に受け入れることができるようになる」「最初に感じたことを大事にして行動すると、後悔が少ないように思う」等、たくさんの意見が出 |

| | | |
|---------------------|------------------|--|
| | | ました。深く考える有意義な時間になりました。 |
| R 元/5/26 第 463 回 | 12 名+講師 (4 名) | 講話は、平豊委員による「私の神経症人生」で、わかりやすい資料を基に話していただきました。自営の会社の起業と神経質性格との関係の経緯や親子 2 代で集談会に救われた経験、集談会の世話役をすることの重要性、そして、「ありがとう」の効用等のお話が印象的でした。 |
| 4/28 第 462 回 | 7 名 (1 名) | 自主学习は山中顧問解説資料の「森田全集第五巻を読む」の第 11 回目を行いました。「心にいろいろの事が起こるけれども、そのまま放っておいたらいい、自然に任せるのが一番いい」「割り切れないまま、不快のままにしておくことが事実本位の生き方。割り切って気分をスッキリさせようとするのが気分本位の生き方」「行き詰ってもそれは生の欲望の強さからそう感じるだけであって、自分が劣っているとか努力が足りないとかではない」等、学びました。 |
| 3/24 第 461 回 | 8 名 (0 名) | 自主学习は、森田全集第五巻の解説 10 回目で、F 幹事の進行で、山中顧問の解説資料を基に話し合いました。「とらわれているから劣っているという考え方は捨てていただきたい」、「世間一般では、不安・恐怖はない方がいいと。森田ではあった方がいい、なくしてはいけない」、等が印象的でした。 |
| 2/24 第 460 回 | 8 名+講師 (0 名) | 杉並集談会より F 委員をお迎えし「強迫観念」と「あるがまま」について講話をしていただきました。「あるがままの態度とは、たとえば山で遭難しウロウロ動かないで（体力を消耗するので）じっとその場で救助を待つという感じである。あえて何もしない態度がなぜ重要かという、もがけばもがくほどさらにさまざまな強迫観念が浮かび、がんじがらめになるからである」さらに発見誌の記事を題材に深く掘り下げてお話しいたさき、大変勉強になりました。 |
| H31/1/27 第 459 回 | 8 名 (1 名) | 自主学习は、会員 T さんが昨年受講したオンライン学習会での経験を基に、「心の交流から得られたもの」と題する体験発表でした。顔は会わずに、お互いに平等の立場で意見交換する中で、『仕方なかったことだと思う』のコメントをもらったことで、自身の過去の後悔から解放された、等が印象的でした。 |
| 12/16 第 458 回 | 12 名 (0 名) | 自主学习の時間は 12 月恒例の一年の総括を行いました。各自 2018 年を振り返り順番に発言しました。「イヤな気持ちのまま自己否定しないで前に進めた」「オンライン基準型学習会に参加できて大きな収穫があった」「できていても認めることができなかつた。最近はずいぶん認めることもできるようになった」等様々な発言に皆聴き入りました。集談会終了後は恒例の忘年会です。参加者全員の景品付きスピーチタイムもあり、楽しい時間を過ごすことができました。 |
| 11/25 第 457 回 | 9 名 (1 名) | 自主学习は、第五巻の山中顧問の解説資料を使った学習の 9 回目で、『修養のための修養であってはならない』は、修養がいけないという意味ではないこと、『何かを変えよう、治そう』は間違いで、それがなぜいけないかを勉強していくことが、森田理論の一番肝心なところ」等が印象的でした。 |
| 10/28 第 456 回 | 11 名+講師 (1 名) | 大田集談会より N 委員をお迎えし「発見会活動を通じて治るといこと」と題して講話をしていただきました。安心・安全を過剰に求めて疲れ果て、森田に出会われました。高良興生院入院、退院後発見会に入会されてからは、いろいろな役をやらせ（不安や迷いがあっても、ただ発見会活動を続けてこられました）発見会という優しい場所で社会のノウハウを学ばれました。「場数を踏む」「発見会を活用する」「居心地が悪い時に症状は出る、居心地の良い場所をつくる」「受けとめ方が過剰であることを認め、あわてない」等、大変勉強になりました。 |
| 9/30 第 455 回 | 8 名 (0 名) | 自主学习は、山中顧問の第五巻解説を題材にした学習の 8 回目で、『純な心』は、素直な心・我々が日々感じる心のことで、特殊なものではない。それを何かで押さえつけられない方がいい。するとあるがままの心が出てくる」等が印象的で、分科会でも話題になりました。 |
| 8/26 第 454 回 | 18 名+講師 (7 名) | (注)東関東支部主催の「一日学習会」と兼ねて開催しました) 集談会を兼ねた「水戸一日学習会」（東関東支部行事）を行いました。講師には岡本清秋理事長をお迎えし「森田と私」というテーマでご自身の人生の歩みをお話しいたさきました。森田を 38 年学ばれ、意識をしなくても端々に出 |

| | | |
|------------------------------|------------------|---|
| | | てこられるそうです。症状に対しても「仕方がない、これはクセ」、「共存しながら他のこと（自分の得意な分野など）で勝負しよう」と乗り越えてこられました。力強くお話しされた前向きな生き方はとても勉強になりました。学習会終了後は岡本理事長を囲んで懇親会を行い親睦を深めました。 |
| 7/22 第 453 回 | 8 名 (0 名) | 自主学習は、山中相談役の第五巻の解説を題材にした学習の 7 回目で、『かくあるべし』を減らせば、当然」と、『あるがまま』、『純な心』が出てきます。森田先生が勧めているのは、それ。『かくあるべし』を減らせばよい」等、印象的な内容がたくさんありました。 |
| 6/24 第 452 回 | 10 名 (2 名) | 6 月恒例のディスカッション、今年は「私が水戸集談会に思うこと」というテーマで行いました。「はじめは症状を治すために参加していたが、生涯学習として勉強していきたいと思っている」「毎月自分をチェックするようつもりで参加している。悩みを聴いてもらえる場がありありがたい」「仲間と会う楽しみ、理論より人間として大事なことがわかってきた」「自分の居場所で自分を出せる、他にない貴重な場。悩みを話すことで前向きになれる」等、皆さんに思いを話していただきました。 |
| 5/27 第 451 回 | 12 名+講師 (1 名) | HT 委員の講話は、「森田の魅力を味わいながら」でした。吃音で悩まれて発見会に入会し、森田と共に生きてきたこと、「神経質は自己否定病」、「自分にやさしくしなければ」、「症状の有無より、とらわれの有無が重要」等が印象的で、わかりやすいお話でした。 |
| 4/22 第 450 回 | 9 名 (0 名) | 自主学習は山中相談役解説による「森田全集・5 巻を読む」の第 6 回目を行いました。「神経質者は現在が抜けてしまう。とらわれると先のことを心配し、過去のことを悔やみ、現在が少なくなる。現在を楽しむ、現在を味わう、これが大事」「純な心から出発する。かくあるべしから出発するのはいけない。自分のためにといいところから出発する。自分が感じるままに、まず感じないといけない。人のためにといいのは、自分を捨ててではなく、自分を含めて人である」等を、学びました。 |
| 3/25 第 449 回 | 10 名 (0 名) | 自主学習は、山中相談役の「第 5 巻の解説#5」でした。「不即不離」や「事実唯真」について、具体的でわかりやすい説明を学びました。「純な心・あるがまま」は、「他力・まかせる」と同じ世界、「まかせて日常生活を進めていると自然に気づきが起る」等が、印象的でした。 |
| 2/25 第 448 回 | 8 名+講師 (0 名) | 生泉会より F 委員をお迎えし、講話をしていただきました。鈴木知準診療所で入院森田療法を受けた体験談は興味深いお話でした。「治る方法を探しているうちは治らない。エネルギーを治す方ではなく、仕事などに向ける」「忙しい環境に身を置く。目の前の必要なことをやっていると感じる」など、とても勉強になりました。また、阿部亨先生の講演会の DVD 視聴もさせていただきました。「森田の生活(生き方)が神経症には自己救済になっている」と教えていただきました。 |
| H30/1/28 第 447 回 | 9 名+講師 (0 名) | 講話は、KM 学習委員の「森田を学んで思うこと気づいたこと」でした。非常に詳細な資料を多く用いて、ご自身の立ち直りの過程を中心のお話で、「直面すること」、「受け入れること」、「浮かんで通ること=じたばたするから沈む」、「時の経つのにまかせること」の四原則等が、印象的でした。 |
| 12/17 第 446 回 | 11 名 (0 名) | 今月は毎年恒例の一年の総括を行いました。各自今年を振り返り発表しました。終了後は 15 名参加で忘年会を行いました。普段は集談会に参加されていない方も見えて、和やかで楽しい会となりました。一年の良い締めくくりができました。 |
| 11/26 第 445 回 | 13 名+講師 (1 名) | 講話は HT 委員の「自分を乗り越えていく物語」でした。『人との関わりを拒否し、引きこもり状態で、自己否定していたが、35 才で発見会に入会し、自覚を深めることができた。他人からの正論や上から目線のお説教的な話は、自分の心には届かなかった。自分で気づいたことだけが自分の行動に変化を与える』等が、印象的でした。 |
| (10 月は定例会お休みで、レクリエーションを行います) | | |
| 9/24 第 444 回 | 10 名 (0 名) | 10 月は例会を休会にして、久しぶりにレクリエーションを予定していました。ひたち海浜公園でのバーベキュー、コキアやコスモス見学、園内散策な |

| | | |
|-------------------|----------------|---|
| | | <p>ど楽しい内容で、担当者が準備をしていましたが、残念なことに台風のため中止となりました。</p> <p>9月は3名の幹事によるミニ体験発表を行いました。やはり体験発表は人気で共感することも多く、その後の意見交換も活発なものになりました。</p> |
| 8/27 第443回 | 10名 (0名) | <p>山中先生特集号第4回の「女性にとっての森田」でした。『女性は特に、周りからのかくあるべしが強いので、過剰な反省をしがち』、『できるだけ自分を好きになって』、『欲望と不安が釣り合った状態、真ん中ではない』、『役割意識から離れて、自分らしく生きるよう心がけてみる』等が、印象的でした。</p> |
| 7/23 第442回 | 12名 (1名) | <p>自主学習は、山中相談役が森田理論をやさしく解説してくれる教材の第3回目を行いました。「とらわれに悩む人は ①少しずつでも神経質気質をとらわれの本態について知識を得ること ②普段の生活態度を調整すること」これが基本ですが、「自分(神経質)についての認識の深まりと、普段の生活内容の微妙な変化と共に、しだいに自己信頼(自信)も回復していく。するといつの間にか、とらわれを邪魔者扱いしなくなり、いわば人生のスパイスとなっていく」とらわれも人生のスパイスにしていく発想が何とも素晴らしいです。</p> |
| 6/18 第441回 | 12名 (0名) | <p>自主学習＝ディスカッションは、発見誌5月号の、鈴木壽美氏の「感情の法則」を題材にしました。「憐れな患者諸君、すべからく往生してはいかが」＝「仕方なしに今しなければならぬことに集中してみる」、「神経質は個性」、「確認行為への対処法に指差し呼称」等、多数の意見を話し合いました。</p> |
| 5/28 第440回 | 11名+講師 (0名) | <p>多摩平日懇談会よりY委員をお招きし「ヘルパーズプリンシプルと森田理論」と題して講話をしていただきました。日常生活での様々な経験・発見会でのいろいろな活動を通して、自己受容につながったお話、「人のために尽くすことが、実はその人自身への最大の援助になっている」との助力者原理(ヘルパーズプリンシプル)の考えに共鳴して、その考えを発見会内にも周知させたいと努力されているお話など、とても勉強になりました。</p> |
| 4/30 第439回 | 11名 (0名) | <p>自主学習は、山中先生特集の第2回目、「森田正馬の人間学；神経質者と人間性」(3)(4)で、森田先生の学説と水谷先生の解説を基にした内容でした。「死の恐怖」、「人に対する恐怖」を心の底で感じ取ってしまった人たちが神経質に悩むこと、それを感じていない人になるろうとするのが根本的間違いである、等を話し合いました。</p> |
| 3/26 第438回 | 7名 (0名) | <p>自主学習は三宮原著の会よりご提供いただいた、森田理論・森田生活道の概要を山中相談役がわかりやすく解説してくださっている教材の第1回目を行いました。全員で輪読後、意見交換しました。自己観察が鋭く、よりよく生きたいという生の欲望の強い神経質は、その気質に合わないものの見方・考え方による生き方の誤りから「とらわれ」をひき起こす。①神経質の本態について少しでも知っていく ②日常生活を通じて不安・煩悶そのものになり切っていく体験が必要 などを学びました。</p> <p>また、不眠に悩まれている方がいて、皆で意見交換しました。</p> |
| 2/26 第437回 | 12名+講師 (0名) | <p>講話は、O学習委員による「森田と私」でした。幼少の頃から神経質で、長年、対人・視線で悩んだが、森田を学んで、ほんとうの自分は、実は「人間大好き人間」であることに気づき、多くの人と関わる教育関連の仕事で、活用されたお話でした。</p> |
| H29/1/22 第436回 | 14名 (1名) | <p>自主学習は山中相談役解説による『森田全集・第五巻』を読む教材の第4回目を行いました。心機一転について、山中先生は「突然変わらなければならない、ぱっと開けなければいけないような感じを持ちますが、そうでなくてよい。学んで生活して気づけばいいわけです。このような積み重ねの先に事実唯真の生活が実現するのです」と教えてくださり、またひとつ理解が深まりました。</p> |
| 12/18 第435回 | 11名 (0名) | <p>12月の自主学習の時間は、恒例の「この一年間の総括」として、皆で一年間を振り返って発言しました。皆さんの発言したいことが多く、時間が足りない印象でした。終了後、忘年会があり、ふだん集談会には参加できない方にも参加していただき、更に、いろいろな話に花が咲きました。</p> |
| 11/27 第434回 | 11名 (1名) | <p>柏集談会よりO委員をお迎えし、「森田理論の概要」というテーマで講話をしていただきました。プロジェクターを使用し、森田理論を実践して乗り越</p> |

| | | |
|---------------------|---------------|---|
| | | えた体験を具体的にわかりやすく話していただきました。共感するところが多く、大変参考になりました。 |
| 10/23 第 433 回 | 10 名 (0 名) | 自主学習は、会員 O 氏による体験発表でした。学生の頃、階段を駆け上がった直後に血圧を測定したことをきっかけに、血圧上昇に注意が集中し過ぎること(白衣高血圧)にとらわれて長年苦しんだこと、森田を知って少しずつやり過ごせるようになったことなどを話していただきました。 |
| 9/25 第 432 回 | 12 名 (2 名) | 自主学習は山中相談役解説による『森田全集・第五巻』を読む教材の第 3 回目を行いました。よく輪読をしています、皆さんに聞いたところ「他の人は皆スラスラ読んでいる、自分はどうも読めるだろうか」と、自分の順番が来るまでドキドキしてしまう人がほとんどでした。「失敗するのは非常に恥ずかしいこと」という思い込みや「人に認められたい」という欲望があるのだと納得しました。ドキドキしていても、他の人からは「スラスラ読んでいる」と見えるのですから、主観と客観の違いがはっきりわかりますね。 |
| 8/28 第 431 回 | 10 名 (0 名) | S 委員の講話は、「不安のまま、やるべきことをする」で、「不安のままに事にあたっていくことが根本的に大事」、「失敗したら自分で責任を執る覚悟が必要」、「毎月の集談会出席は、命の洗濯で、心が洗われるように感じていた」等の、41 年前入会の大ベテランならではの、印象深いお話が沢山ありました。 |
| 7/31 第 430 回 | 14 名 (1 名) | 自主学習は山中相談役解説による『森田全集・第五巻』を読む教材の第 2 回目を行いました。全員で輪読後、共感する部分や気づいたことなどを話していただきました。今回も山中先生の解説はとてわかりやすく、神経質者にとても優しいと感じました。 |
| 6/26 第 429 回 | 10 名 (1 名) | ディスカッション；「神経症の成り立ち」の時間は、「森田理論学習の要点(補足版付)」の第 1 章を題材にして、2 人の幹事さん担当で、それぞれ自分の体験と照らし合わせながらのお話とそれに対する質疑応答を行いました。色々と活発なやり取りがありました。 |
| 5/22 第 428 回 | 10 名 (1 名) | 練馬集談会より I 委員をお迎えし、「私の症状対処法」というテーマで講話をしていただきました。対人、抑うつで悩み、30 代で発見会を知り「人の前で話すとき緊張するのは自然なこと。人の中に入れないと思うことも自然なこと」と教えられ、気持ちが楽になりました。「朝の挨拶で返事がなくても、相手がいい悪いではなく、自分が気にするタイプなのだ」と自覚し認めることによってあまり気にならなくなってきた」いろいろな思惑があっても、ありのままの自分があるがままに認めることによって、とらわれから解放されるということをお話いただき、とても参考になりました。 |
| 4/24 第 427 回 | 11 名 (2 名) | 2013 年 3 月～2016 年 3 月まで 18 回にわたって行われた「神経質の本態と療法」の学習も終わり、今回から新しい教材での学習が始まりました。 三宮原著の会より提供いただいた山中相談役解説による「森田全集・第五巻」の教材は、「山中先生の解説はとてわかりやすい」「優しい」と参加者に大変好評でした。これからの学習が楽しみです。 |
| 3/27 第 426 回 | 11 名 (2 名) | 自主学習は、「本態と療法」の最終回「臨場苦悶」で、M 幹事作成の要点メモを使い、進めました。乗物恐怖の学生の症例と犬に吠えかかれた時を例に、「恐怖症」になるのは、心の置き所によるとの講義内容でした。最終回の、「最も大切なのは、病的心理の理解と確実な診断で、『ただ恐怖せよ』の一言で千篇一律にはいかない』が印象的でした。 |
| 2/28 第 425 回 | 10 名 (0 名) | 船橋集談会より F 委員をお迎えし、講話をしていただきました。就職、転職、結婚等でモヤモヤしたものをずっと抱えられていましたが、10 代の頃より森田を知っており、なすべきことをなして乗り越えられたお話でした。「現状で努力する」「考える価値のないものは考えない」「小さな思いやりを心がける。人がやりたくないこと、喜ぶことを率先してやる」等、とても参考になりました。 |
| H28/1/24 第 424 回 | 10 名 (0 名) | 自主学習は「本態と療法」の「『神経質療法』に成功するまで」で、F 幹事の話提供と共に話し合いました。お寺の地獄絵を見て「死の恐怖」と生死の問題を考えたこと、親への面当てに、死んでも構わないと薬もやめ、猛勉強 |

| | | |
|--|--|--|
| | | して好成績を修めた"必死必生"の実体験が、神経質の研究を始めるきっかけとなったことを知りました。 |
|--|--|--|